

## 新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)中和抗体の取得に関する 論文掲載についてのお知らせ

このたび国立感染症研究所、北海道大学、京都大学および鳥取大学との共同による新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に対する中和抗体の取得に関する以下の論文が掲載されましたのでお知らせいたします。

【雑誌名】 Immunity (Cell)

【公表日】 2021年8月24日（オンライン公開）

【論文タイトル】 A SARS-CoV-2 Antibody Broadly Neutralizes SARS-related Coronaviruses and Variants by Coordinated Recognition of a Virus Vulnerable Site

本論文に記載されている中和抗体 NT-193 は、弊社の保有する TC-mAb™ マウス（完全ヒト抗体産生マウス）から取得された抗体で、特許出願しております（2020年9月16日リリース）。

NT-193 は、新型コロナウイルスの複数の変異株に対して高い中和活性を有し、動物試験で感染前や感染後における本抗体の接種により、症状の緩和が有意に認められることから、治療のみならず予防的接種への活用も期待されます。さらに本抗体の大きな特徴として、ウイルスがヒトの細胞に結合する際に必要なタンパク（スパイクタンパク）の中でも、結合に際して最も重要な役割を果たす領域（ACE2結合領域）およびその付近に存在する変異が起りにくい領域の両方に結合することから、今後発生する多様な変異株に対しても有効である可能性があります。

弊社は TC-mAb™ マウスを用いて、国内外の製薬企業やアカデミア、公的機関との共同研究を進め、様々な新規創薬パイプラインの創生に取り組んでまいります。

### 【共著者プレスリリース】

北海道大学ホームページ

<https://www.hokudai.ac.jp/news/2021/09/sars.html>

[https://www.hokudai.ac.jp/news/pdf/210914\\_pr.pdf](https://www.hokudai.ac.jp/news/pdf/210914_pr.pdf)

以上